

C 子どもをめぐる課題

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書
C2	人権ってなあに 第6巻 いきいき生きる 子どもの権利とエンパワメント	VHS	35分	川崎市子どもの権利条例、中高生の居場所“ゆう杉並”、子ども情報誌を自力発行する大阪「EFC」。そんな子どもたちが自立に向けいきいきと活動している姿を追い、虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れ、本当の意味でのエンパワメントのあり方を探る。	13年度	(社)神奈川人権センター (株式会社アズマックス)	無
C3	アニメーション プレゼント	VHS DVD	17分	子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の人権の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらうために作られている。 小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹を立てた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。	15年度	法務省人権擁護局・(財)人権教育啓発推進センター 制作：毎日映画社	有り
C4	小学生の人権学習シリーズ 私の権利、みんなの権利	VHS	14分	子どもの権利条約について理解を深め、子どもの意見表明権という権利があることを学び、子どもたち自身の体験とのつながりを考える。 ミニドラマ形式で、一人でも、集団でも学べるよう、ナビゲーターが登場し、問題提起をしている。 「指導の手引書」付	15年度	東映株式会社	有り
C5	小学生の人権学習シリーズ 「人権」ってなんだろう	VHS	14分	いじめ、差別、人権侵害を子どもたちが、自分たちの問題だととらえ、その解決に向け、知恵を出し合い、行動に移すことを目標としている。ミニドラマ形式で、一人でも、集団でも学べるよう、ナビゲーターが登場し、問題提起をしている。 「指導の手引書」付	15年度	東映株式会社	有り
C6	セツちゃん	VHS	34分	直木賞受賞作品『ビタミンF』（著／重松清）を原作としたビデオ。 ある日、娘の加奈子が「セツちゃん」という転校生について語りだす。みんなから嫌われている「セツちゃん」を日々語りつづける加奈子。運動会でのダンスの練習でも「セツちゃん」は仲間はずれにされていると語る加奈子は、両親に運動会に来ないように言うのだった。	16年度	東映株式会社	無
C8	子ども虐待 第1巻 ～子ども虐待を理解するために～	VHS	30分	「子ども虐待」への理解を深める事をねらいとし、イラストや解説図などを使った構成で作成。 第1巻は、子ども虐待とはどのようなものなのか、子どもを虐待から守るためにはどう対応したらよいかを解説。	16年度	新宿スタジオ	無
C9	子ども虐待 第2巻 ～早期発見と初期対応～	VHS	27分	「子ども虐待」への理解を深める事をねらいとし、イラストや解説図などを使った構成で作成。 第2巻は、子ども虐待を発見したとき、どのように対応したらよいかを具体的にみていく。	16年度	新宿スタジオ	無
C10	ドラマ 夕見えのみち (副音声・字幕入り)	VHS	38分	インターネットを使って友人の人権を侵害した高校1年生の娘とその家族をおとせ、正しくインターネットを利用することにより豊かなコミュニケーション社会をめざすために、わたしたちは「どう生きるのか」「人とどう関わるのか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さについて訴える。	18年度	兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会 (共和教育映画社)	無
C11	ドラマ 見上げた青い空 (字幕入り)	VHS DVD	34分	学校におけるいじめをテーマにしたドラマ。巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる『いじめ』の本質を直視してもらい、あらためて『いじめ』について考えてもらうきっかけになることを企図して作成されている。	19年度	法務省人権擁護局・(財)人権教育啓発推進センター (株式会社電通テック、株式会社情報設計)	有り
C12	ドラマ ありったけの勇氣 (字幕入り)	VHS	27分	子どもたちは「いじめはよくない・悪いことだ」と心の中では思っている、「自分がいじめられるのでは？」という不安からいじめる側に回ったり、見てみないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝える。	19年度	神戸市・神戸市教育委員会 (キャン・ケイブランニング)	有り
C13	中学生のいじめを考える 被害者・加害者・観衆・傍観者	VHS	19分	いじめの四層構造、「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」。そのどこかに自分はいないか。どうして自分たちは、そういう行動をとってしまうのか。しかし、その自分たちの行動は、他人の人権を踏みかかっていることになってはいないか。子どもたちにこれらの問題をわかりやすく提起することで、いじめの要因と構造を自覚させ、人権を考える契機を与える。	19年度	フォア・ザ・ワン・プロジェクト (東映株式会社)	無
C14	ドラマ ひとみ輝くとき (字幕入り)	VHS	35分	毎日ひっきりなしに送られてくる、誹謗中傷や現金を要求するメールに悩む主人公。次第に追い詰められ不登校に陥り、死を意識して郊外の展望台に立ったところを高齢夫婦に声をかけられ事なきをえる。いじめの責任は加害者だけにあるのか？ 学校・家庭・地域が一体となってこの問題に取り組み、クラス全員で話し合い、ほとんどの生徒たちが仲裁者ではなく、傍観者や観衆であることに気づいていく。 子どもたちがこの映像を見て「いじめの構造」を知ったとき、自分はどの立場にいるのかを判断し、みんなで考え話し合いのできる作品。	20年度	福岡県・(財)福岡県人権啓発情報センター (共和教育映画社)	有り

C 子どもをめぐる課題

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書
C 15	ドラマ 子どもの人権を考えるシリーズ 傷つけられる思春期 —子どもとの会話を取り戻すために—	VHS	25分	■事例：不登校をなじられ暴力へ 博一は中学まで成績優秀でスポーツも万能。しかし、名門進学校に入学してから成績が落ち、不登校気味になる…。 ■事例：「非行行動を止めたもの」 朝帰り・外泊を繰り返す優花を咎めない母 咲子。優花が警察に補導されたとき、咲子は…。 実際の事例をもとに、思春期の子どもと向き合うために何が求められているか提言する。	20年度	フォア・ザ・ワン・プロジェクト (東映株式会社)	無
C 16	ドラマ 虐待防止シリーズ 幼児・児童虐待 —見えない虐待をしないために—	VHS	25分	実例3話のオムニバスドラマ。ドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介。巻末で、求められる親の気づきをアドバイスする。	20年度	東映株式会社 教育映像部	有り
C 17	アニメ 声を聞かせて	VHS	40分	携帯電話は、もはや単なる“電話機”ではない。ケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか、私たちはこの現実に向き合っていけばいいのかを一緒に考えてみる。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げている。	20年度	北九州市・北九州市教育委員会 北九州市人権問題啓発推進協議会 (東映株式会社)	無
C 18	ドラマ ケータイ・パソコンその使い方で大丈夫？	DVD	22分	ケータイやパソコンを使う際のルールとマナーはもちろんのこと、トラブルに遭わないためには、どうすればいいのか、また遭った時の対応策をドラマ仕立てでわかりやすく描いている。	20年度	東映株式会社 教育映像部	有り
C 19	ドラマ ケータイトラブル 子どもを犯罪者・被害者にさせない	VHS	25分	子どもがケータイトラブルを起して犯罪者・被害者にさせないよう3つの事例で紹介し、親などに問題提起する。 [事例] ①掲示板の罠 ②学校裏サイトの罠 ③プロフの罠	21年度	東映株式会社 教育映像部	無
C 20	ドラマ インターネットの向こう側	DVD	36分	インターネットは、その利便性から急速に発展しており、パソコンや携帯電話などの端末の普及に伴い、私たちの生活は、インターネットと切り離せないものになっている。その一方で、インターネット上での差別的な書き込みや個人情報漏えい、学校裏サイトにおけるネットいじめなど、人権擁護の観点からの問題が顕在化してきている。このビデオは、中学生・高校生たちにインターネットにおいて生じる人権に関する課題の本質を把握してもらうとともに、その対処法や被害にあった際の相談方法などの必要な情報を盛り込み、併せて周囲の大人にも問題点を提示し、理解してもらうことを目的とする。 ■ドラマ：26分23秒 ■解説：9分29秒	21年度	(財)人権教育啓発推進センター (株式会社日テレアックス)	有り
C 21	児童虐待と子どもの人権	VHS DVD	23分	虐待を受けた経験のある子どもや、虐待を受けた子どもなどを保護している児童福祉施設など関係者取材し、虐待の現状とその背景を描くとともに、よりよい子育てのありかたをさぐり、子どもの人権を守るために何ができるかを考える。	23年度	東映株式会社 教育映像部	無
C 22	ボクとガク あの夏のものごと	DVD	42分	「子どもの人権」と言えば「与えること」「守ること」と思われがちですが、子どもは「いや！」と拒否することも「自分でやる」と主張することもできる存在である。権利の主体として社会に参加し、意見を表明する権利がある。二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、そうした子どもの人権と、地域ではぐくむ人権文化というものに目を向けた作品。また、私たちが決して忘れてはならないもの、次代に受け継ぐものとして「戦争と平和」についても描いている。	22年度	企画：北九州市・北九州市教育委員会、北九州市人権問題啓発推進協議会 制作：東映株式会社	有り
C 23	子育てに希望を！ 児童虐待のない社会のために	VHS DVD	19分	児童虐待が社会問題として取り上げられる中、背景のひとつに、母親の子育て環境の問題があると考えられている。この作品では子育ての不安から起因する問題とその解決法を、再現ドラマや、埼玉県和光市での実際の取り組みを通して紹介し、子育てに希望の持てる社会づくりの大切さを強く訴える。	23年度	株式会社映学社	無
C 24	ネットと上手につき合おう！～ ケータイトラブルから身を守る	DVD	23分	インターネットによるコミュニケーションは、いまや社会で欠かせないものになっている。子どもの間でも、携帯電話を中心に、様々なネット利用が広がっているなか、一方でネットのトラブルも増加している。本ソフトは、ネットのトラブルを防ぎ、インターネットを有効に活用していくためにヒントを提供するものである。	23年度	東映株式会社 教育映像部	無

C 子どもをめぐる課題

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書
C 25	勇気のお守り／自分の胸に手を当てる(アニメ)	DVD	30分	作品1「勇気のお守り」 転校生の林太郎は、クラスメイトとの間で起こった事件を契機に学校を休むようになってしまう。しかし、友人の思いやりや「子どもの人権SOSミニレター」による人権擁護委員への相談をきっかけに、次第に立ち直っていく・・・ 作品2「自分の胸に手を当てる」 学校裏サイトの掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校となる優子。そして、書き込んだ未唯もネットいじめのターゲットとなっていく。問題解決のために、洋平は「子ども人権110番」へ相談し、クラス全員で話し合うことになるが・・・	23年度	法務省人権擁護局・(財)人権教育啓発推進センター	有り
C 26	いじめ脱却マニュアル～いますぐできる対応法～	DVD	32分	子どもたちのいじめ体験を再現ドラマとして挿入しながら、いじめへの対応法を解説しています。	19年度	フォア・ザ・ワン・プロジェクト／東映株式会社教育映像部	無
C 27	あたたかい眼差しを虐待から子どもを守る	DVD	22分	なぜ、児童虐待が増えているのでしょうか。どのようにすれば、虐待から子どもの命を救うことができるのでしょうか。周囲の人々が援助する方法はないのでしょうか。本作品では、それらの問題をケーススタディドラマや関係者の話などで探り、解決の方向性を示します。	24年度	株式会社映学社	有り
C 28	いじめはやめられる！ －みんな加害者－	DVD	17分	いじめは、クラス内に観衆や傍聴者が生まれることで大きくなる同時に、大人の眼には見えなくなっていきます。また昨今では、多くの観衆を求めて、ネット上にいじめの動画を流すという事案も出てきました。観衆・傍聴者であれば、加害者ではないのか・・・いじめを受け入れてしまうひとりひとりにならないために何が必要なのか。子どもたちに、いじめについて新たな問題を提起する。	25年度	東映株式会社教育映像部	無
C 29	いのち輝くとき 虐待は命の問題です！ 『DVD』版	DVD	17分	マンションに隣接した畑はふれあい菜園と名づけられ、お年寄りを中心にマンションの住民達が野菜や花をうえています。そこに住む稔(4歳)は父親に受けた虐待が原因で心を閉ざしている。お年寄りたちが稔とその家族がなんとか立ち直るために発奮します。地域のふれあい、お年よりのふれあいと、子どもの虐待防止を描く社会教育ドラマ。	13年度(24年度DVD化)	共和教育映画社	無
C 30	ネットの暴力を許さない	DVD	19分	中高生の間で流行しているプロフ。それがいじめの温床となっている。規制や監視をしても、子どもたちに自覚がなければ、ネットによる暴力を止めることはできません。いたずら、いやがらせがどういう問題を起こすのか。自分たちは加害者と同じ、いじめをしていないか。いじめをおもしろがる心があるから、ネットの暴力が止められないのではないか。こうした問いかけをし、子どもたちに人を傷つけることの悪さへの気づきを持たせ、人権意識を育てる。(企画意図)	21年度	東映株式会社教育映像部	無
C 31	わたしからはじめる人権 「子どもの人権編」 (暮らしの中の人権シリーズ)	DVD	17分	子どもの権利 いじめ 子どもの虐待 ・子どもの人権問題を、ドラマ、ドキュメンタリー、解説と三つのパートで構成。大人からは見えない子どもの本音に迫りながら、子どもの人権を守るためにできることは何か考えてゆきます。『子ども虐待』は、虐待防止センターの相談員の話を中心に、虐待とはなにか。どうしたら防ぐことができるか、掘り下げてゆきます。	25年度	東映株式会社教育映像部	有り
C 32	いじめと戦おう！中学生篇	DVD	23分	いじめによる中学生の自殺報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。	24年度	東映株式会社教育映像部	有り
C 33	いじめと戦おう！小学生篇	DVD	21分	いじめの報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。鑑賞した児童がいじめの、加害者、被害者、傍観者の立場を理解し、考えることができるドラマ形式の教材です。	24年度	東映株式会社教育映像部	有り
C 34	PTG 子どもの心の回復 －豊間小学校子ども映画学校－	DVD	20分	福島県いわき市立豊間小学校。そこは、巨大津波が襲い、福島県で最大の死傷者をだした地域です。心のケアのためには、なによりも子どもたちの当たり前日常を回復させることだ・・・校長先生の願いは子どもたちに映画づくりを体験させることでした。映画製作を通じて児童たちは、自分の地域へ誇り、そして自分自身への誇りをよみがえらせた。いじめや虐待といった子どもたちにふりかかる心の傷。そこに保護者・教師・地域がどう関わり合っていけばいいか。子どもの心の回復について解説します。	26年度	企画・制作：有限会社フォア・ザ・ワン・プロジェクト	無
C 35	アニメーション ココロ屋	DVD	25分	「ココロ」とは？「ココロ屋」は、この謎に向かい合うためのヒントとなる優れた児童文学を原作にしたアニメーション。 自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれています。未来を担う児童のための、有用なアニメーション教材。	26年度	企画：東映株式会社 制作：東映株式会社教育映像部	無

C 子どもをめぐる課題

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書
C 36	防ごう子どもの虐待 日常の子育てから考える	DVD	25分	私たちの日常の中で、不適切な子育てを繰り返せば虐待になりうる。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえる。そのような観点から本作品では、ドラマ監修の片倉昭子さんの解説を通じて、日常の子育ての中で起こりがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いている。	27年度	東映株式会社 教育映像部	無
C 37	もずやんのレスキューキット ～危険から子どもを守るDVD～	DVD	114分	現在はスマートフォン等の普及により世の中が便利になる反面、子どもたちがネット上のトラブルに悩まされたり、薬物等の犯罪に巻き込まれるケースが増加している。正しい知識や情報が不足しているのも一因と考え、子どもたちが日常生活の中で遭遇しかねない危険と、それを回避する方法について、大阪府と企画提案して3部構成で映像化されている。	26年度	制作・特別協賛：公益財団法人 日本公衆電話会大阪支部 編集：大阪府政策企画部青少年・地域安全室	有り
C 38	インターネットと人権 加害者にも 被害者にもならないために (活用の手引付き) 【字幕(日本語・英語)／副音声入り】	DVD	30分	近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。本DVDでは、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策についてわかりやすくまとめました。 【中高生やその保護者、教職員向け】 Chapter 1 オープニング chapter 2 ドラマ「下着姿の画像を送信してしまった事例」 chapter 3 解説「インターネットの落とし穴」 chapter 4 ドラマ「無断で個人情報をインターネット上に公開してしまった事例」 chapter 5 解説「加害者にも被害者にもならないために」 chapter 6 ドラマ「インターネットの危険性」	28年度	企画：法務省 人権擁護局 公益財団法人 人権教育啓発 推進センター 制作：東映株式会社	有り
C 39	ケータイ・ネット ここが心配 犯罪から子どもを守る	DVD	23分	“コミュニケーションの道具としてのインターネット”という切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学んでいけるよう「指導者・保護者向け」の作品。「インターネットによるコミュニケーションとはどのようなものなのか」「より良いコミュニケーションのためには、どのようなことに注意したら良いのか」を考え、理解を深めさせる内容。 【指導者・保護者向け】	27年度	制作・著作： 株式会社映学社	無
C 40	友だちの声が聴こえる？ ～本当の思いやり～	DVD	24分	今日、いじめ、不登校、青少年犯罪の凶悪化・低年齢化などの問題が課題となっています。子どもたちの心を健全に成長させるため対策作りが早急に求められています。この作品は、友だちの心の声に耳を傾け、相手の考えや気持ちを尊重し本当の思いやりとは何かを考えるために制作されました。	24年度	企画・制作： 鹿児島文化企画	無
C 41	悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル (字幕版)	DVD	33分	法務省主催の全国中学生人権作文コンテストで、法務大臣政務賞を受賞した「いじめのスパイラル」をドラマで映像化。この作文は、実際にいじめにあって悩み苦しんだ、ある女子中学生が、なんとか周囲の人々に悩みを告白するきっかけをつかみ、いじめ問題を解決していく、一つの手がかりを提示する内容。 (文部科学省選定)	26年度	企画協力：法務省人権擁護局 制作・著作： 株式会社映学社	無
C 42	便利？それとも危険？ ケータイ・ネットでのコミュニケーションを考える	DVD	22分	“コミュニケーションの道具としてのインターネット”という切り口で、インターネットを上手に安全に使う方法を学んでいけるよう「中学生・高校生向け」の作品。「インターネットによるコミュニケーションとはどのようなものなのか」「より良いコミュニケーションのためには、どのようなことに注意したら良いのか」を考え、理解を深めさせる内容となっています。 【中学生・高校生向け】	27年度	制作・著作： 株式会社映学社	無

C 子どもをめぐる課題

番号	題名	種類	収録時間	内容	制作年度(平成)	制作者	解説書
C 43	みんなの情報モラル I アニメーションで学ぶ！ネット社会のルールとマナー (字幕選択式)	DVD	43分	スマホ、ネットとのつきあい方を学ぶ アニメーションラインナップ ○夢中になりすぎて (4分5秒) スマホを利用する際のルールやマナーを再確認。 ○ホントの友だち (5分15秒) SNSでできることや使い方の問題点など ○かくれた情報 (4分2秒) 詐欺サイト、位置情報サービスについて ○送った写真 (5分) SNS情報流失 ○乗っ取られたアカウント (5分44秒) IDとパスワードの管理、ネット上での個人情報流失など ○甘い言葉のかげに (4分32秒) ネットと個人情報 (対象：小4～中学生・高校生・一般)	27年度	企画制作：株式会社コムパレット	有り
C 44	みんなの情報モラル II アニメーションで学ぶ！ゲーム機、スマホ安全教室 (字幕選択式)	DVD	33分	家庭のルールや安全なつか方を被害に遭う前に アニメーションラインナップ ○ゲームのやくそく (小学生)・安全な遊ぶ方・約束の大切さ (大人)・子どもの安全・大人の役割 ○あとすこし、もうちょっと (小学生)・依存・健康・約束 (大人)・機器の管理・見守り、声かけ ○ホントはどんな人？ (小学生)・なりすまし・送った写真のゆくえ・個人情報 (大人)・未然防止・フィルタリング・使用制限機能 (文部科学省選定)	28年度	企画制作：株式会社コムパレット	有り
C 45	わたしたちが伝えたい、大切なこと ーアニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品ー (字幕：日本語／英語) 副音声入り 【活用の手引き付き】	DVD	31分	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気持ちのプロセスを描いています。 ○『差別のない世界へ』(8分) 原作：平成22年度 文部科学大臣奨励賞受賞作品 ○『手伝えることはありますか』(7分) 原作：平成26年度 法務事務次官賞受賞作品 ○『共に生きるということ』(7分) 原作：平成25年度 法務事務次官賞受賞作品 ○審査員長からのメッセージ(8分) 全国中学生人権作文コンテスト中央大会審査員長 (作家) 落合恵子	28年度	企画：法務省人権擁護局 公益財団法人人権教育啓発推進センター 制作：毎日映画社	有り
C 46 ★ ★	いじめ 一歩ふみ出す勇氣	DVD	19分	本作は、中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとするストーリーを通して、いじめ解決のために一歩踏み出すことの大切さを伝えます。また、ドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えて視聴することで、もし自分がその人物ならどうするか考え、話し合い、より良い行動をとる力をつけていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社オフィス・シマ	有り
C 47 ★ ★	いじめ 心の声に気づく力	DVD	19分	小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。本作品では、子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何が行動しようとする意識をもつことをねらいとしています。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社オフィス・シマ	有り
C 48 ★ ★	情報モラルを身につけよう！1巻 自分も相手も傷つけないために	DVD	21分	スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方を分かりやすく解説します。子供たちが情報社会における正しい判断力と態度を身につけ、危険回避の方法を理解することを狙いとしています。 1巻では、主にスマホの安全で正しい使い方について教えていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社CLEO	有り
C 49 ★ ★	情報モラルを身につけよう！2巻 危険な目にあわないために	DVD	19分	スマホを利用してトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、子供たちに安全で正しいスマホの使い方を分かりやすく解説します。子供たちが情報社会における正しい判断力と態度を身につけ、危険回避の方法を理解することを狙いとしています。 2巻では、主にゲームアプリの課金、ワンクリック詐欺、スマホ依存の危険とその対策について教えていきます。	30年度	企画・制作：東映株式会社 制作協力：株式会社CLEO	有り

★★：令和元年5月新着分